

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
エスポワール尼崎		2025年 4月 7日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15/16	1/16	スペースを広くとれるように物の配置等工夫している。ワンフロアで	問題なし。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15/16	1/16	人員配置基準を守り加算要件を満たす配置を行っている。	送迎に1～2人取られると事業所内にスタッフが手薄になるので入浴が困難。ドライバーが1人だと送迎の時間縛りなどの関係で送迎を組むのが難しい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16/16		子供達が過ごしやすいようにバーをつけたり、床材を工夫している。	問題なし。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16/16		定期的に掃除・消毒を行い清潔に努めている。	問題なし。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14/16	2/16	体調状況等に応じてベッドで過ごしてもらっている。	場所はあるが、以前のようにマットを敷き横になる場所がなくなった。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	16/16		毎日話し合いの機会を持っている。	問題なし。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16/16		頂いた意見を参考に業務の改善に努めている。	問題なし。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16/16		毎日朝礼等で話し合いの機会を持っている。	問題なし。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	16/16		定期的に第三者に見てもらい評価を受けている。	今後も定期的に第三者に見てもらい評価を参考にする。。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16/16		研修を積極的に行っている。	引き続き研修を積極的に行う。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16/16		作成・公表を行っている。	問題なし。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	16/16		専門的分野からの視点で意見交換を行い作成できている。	問題なし。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16/16		情報共有は日々の会議・朝礼などでしっかり時間を取り行っている。	問題なし。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16/16		会議・朝礼等で職員間全員で共有している。	問題なし。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化したツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16/16		日々支援内容の確認はできている。時間を取り行うことが出来ている。	今後も子供の状況をしっかりと把握したうえで活動内容を考える。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16/16		支援会議を繰り返し行い取り組みが出来ている。	今後も具体的な計画を作成し支援に繋げていく。

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16/16		毎月活動内容を考え意見を出し合い作成している。	今後も毎月話し合いをし作成していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16/16		毎月の活動内容を決める際に季節のものなど新しいイベントごとを発案している。	今後もプログラムに変化をつけていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16/16		子供の状況をしっかり把握し活動内容を考え計画を持っている。	今後も子供の状況をしっかり把握したうえで活動内容を考える。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16/16		朝礼でしっかり確認を取る時間作り、気づきがあればスタッフ間で共有して支援する。	問題なし。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16/16		毎日話し合いの機会を持っている。	問題なし。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16/16		連絡帳に細かく記載するようにしている。定期的に計画の見直しも行っている。	今後も日々の支援内容をわかりやすく伝え、工夫を継続していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16/16		連絡帳に細かく記載するようにしている。定期的に計画の見直しも行っている。	問題なし。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16/16		行っている。	問題なし。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16/16		自らの意思で伝えるのが難しい利用者が多いので思いを出来るだけ汲み取って、本人にとって良い選択が出来るように関わっている。	問題なし。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16/16		管理者や児童発達管理責任者が参加している。	問題なし。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16/16		連携し情報を共有している。	問題なし。
	28	(28～30は、センターのみ回答)	16/16			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と	16/16			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	15/16	1/16		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	16/16			
	31	(31は、事業所のみ回答)	7/16	9/16	連携し助言を受けているが、研修は特に受けていない。	今後実施を検討していく。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4/16	12/16	地域の方との交流は必要性を感じない保護者も多く、特に出来ていない。今後必要性を考えながら取り入れていく。	今後必要性を検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4/16	12/16	子供の状況をしっかり把握し、保護者とのような部分で留意した支援が必要かを話し合いを行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16/16		送迎時には1日の出来事を話し保護者との情報共有の時間を持っている。	問題なし。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5/16	11/16	説明を行っている。必要があれば随時行っている。	問題なし。

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16/16		自らの意思を伝えるのが難しい利用者が多いが、思いを出来るだけ汲み取って、本人にとって良い選択が出来るように関わっている。	問題なし。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16/16		説明を行っている。必要があれば随時行っている。	問題なし。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16/16		悩みがあれば相談してもらい職員間で話し合い対応させてもらっている。	今後も話しやすい関係作りを大切にしていける。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	16/16		行えていないままになっている。	ニーズに応じて保護者会を積極的に行っていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12/16	4/16	保護者と面談を設けているが、交流の場の機会が少ない。こちらからの働きかけはないが保護者同志の繋がりはある情報共有はできている。	今後も話しやすい関係作りを大切にしていける。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	16/16		HPやInstagramに定期的にアップしている。	問題なし。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16/16		鍵付き書庫を用いて厳重に保管している。	問題なし。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16/16		配慮している。	問題なし。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6/16	10/16	交流を嫌がる保護者も多く厳しい部分もあるが、今後検討していく。	今後検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16/16		定期的に行っている。	問題なし。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16/16		定期的に行っている。	問題なし。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16/16		発作マネジメントシートを作成し利用開始時に記入してもらっている。	問題なし。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16/16		情報共有内容も必要に応じて変更をして常に新しい情報の取得・更新に努めている。	問題なし。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16/16		研修を行って計画を作成している。	問題なし。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16/16		LINE等で周知している。	問題なし。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16/16		その都度会議・朝礼でヒヤリハットについて話し合い全員で共有している。	今後もヒヤリハットに関してあれば話し合いを行い・共有して事故防止に努める。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16/16		研修と適切な対応を行っている。	今後も研修を行う。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	16/16		新人研修など日常的に虐待についての研修に取り組んでいる。研修を行ったりその都度説明指摘をしたり話し合っている。	子供の安全のために制限しないといけなことがあれば事前に保護者に説明を行い、了承を得る。